

# きららの実

17号

一人ひとりを 人として大切に



# 元

## 「あなたがいるから わたしはうれしい」

当法人は、障がいのある息子を育てる一人の親が、我が子を想う不安と願いから生まれました。

「親なきあと、この子はどう生きていくのか」という問いは今も私の原点として心にあります。安心して暮らすことができ、想いに寄り添い、支え合える場所をつくりたい。同じような不安や悩みを抱える家族が集まり、その一心で歩んできました。

これまで歩いてこられたのは、利用者の皆さんとご家族、日々現場で支援に向き合い続ける職員、賛助会員の皆さま、地域の皆さま、その他多くの方がこの法人を信じ、支えてくださったからにほかなりません。皆さまの温かいご理解やご協力があってこそ私たちは安心して活動を続けられています。心より感謝申し上げます。

さて、私は子どもの頃から、両親から「一年の計は元旦にあり」という言葉を聞いて育ちました。元旦は、宿題や書初めをし、元旦ならではのお正月あそびを楽しみながら、自分の一年を思い描き、心を整える大切な一日でした。その影響か、今もその習慣は変わっていません。

事業を始めて15年、一度も欠かすことなく、元旦にはすべての事業所を回っています。「この一年、事故がありませんように。笑顔いっぱいでありませうように。」と願いを込めながら、床に目を向け、空間に心を配る、それが私にとって新しい年の始まりです。

仕事納めの日に、利用者の皆さんと職員と一緒に、丁寧に掃除をしてくれた事業所。整えられた床や、静かに立つ門松を目にすると、自然と感謝の気持ちが込み上げます。そしてその時間は、私たちがどこを目指し、どんな法人でありたいのか、法人のビジョンを、あらためて心に刻む時間でもあります。私たちのビジョンは、障害のある人、障害があると言われていない人、すべての人を、一人ひとりを人として大切にすることを何よりも基本に、みんながそれぞれの違いを

認め合いながら、その人らしく暮らしていける社会を支えていくことです。人を想う気持ちを、すべての支援や関わりの土台に置き続けること。それが私たちの変わらない姿勢です。

新しい年を迎えるにあたり、私の中で掲げる今年の一文字は『元』です。

- 『元』にはさまざまな思いを込めています。
- ・ 原点の元：法人設立の思い、当事者としての原点に立ち返ること
- ・ 元気の元：心（精神面）も体も健康である。気力、体力があり活力の源
- ・ 感謝の元：法人設立前から現在まで、多くの人への感謝の根
- ・ 源の元：一人ひとりの命の尊厳。すべての活動は人の暮らしという源から始まること
- ・ 節目の元：グループホーム事業は法人の新しい章、覚悟の一步
- ・ 立て直す元：迷いや困難があっても、元に立ち返りまた歩き出せる力

この『元』を胸に法人としても個人としても、迷ったときや悩んだときに立ち返る拠り所としたいと思っています。私たちは正解を出ず仕事をしているのではありません。命と向き合い、その人の人生に最後まで伴走する仕事です。

この仕事の中心には、いつも「人の人生」があります。喜びも悩みも、利用者の皆さんとご家族、職員、そして地域の皆さんと分かち合いながら歩む。それが、私たちの仕事の本質です。

## 「あなたがいるから、わたしはうれしい」

この想いを胸に、一人ひとりの存在を大切に、出会えたご縁を大切に、私も当事者として、親として、皆さんとともに歩んでいます。迷うことも、立ち止まることもあります。一緒に支え合いながら、笑顔を忘れず、前に進んでいきたいと思っています。

理事長 江川美奈子

### contents

BCP研修	p.1-2	新しい取組	p.11
BCP改善プロジェクト	p.3-4	学びと体験を通して	p.12
活動報告	p.5-6	スタンドグラスからのメッセージ	p.13-14
各事業所報告	p.7-8	みんなの笑顔が集まるページ	p.15-16
合同イベント	p.9-10	令和6～7年度賛助会員様	p.17
		役員及び各事業所連絡先	p.18





ぬくい えみこ  
講師：湯井 恵美子氏

兵庫県立大学 博士(学術)  
専門：減災復興政策、福祉防災  
国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 客員研究員  
一般社団法人福祉防災コミュニティ協会 理事

令和7年6月と9月に、防災力向上を目的とするBCP研修を実施しました。

今回のBCP研修は講師、湯井先生の熱意ある指導のおかげで、非常に充実した内容でした。先生は、表情や声のトーン、身振り手振りを巧みに使い、参加者全員の注意を引き付けながら進めてくださいました。ユーモアも交え、研修は参加型の形式で進行され、集中して学ぶことができました。

きららの木のBCP(事業継続計画)はすでに策定されていますが、今回の目的は、実践力を高めたより効果的なBCPへの改定です。

研修では講義と図上訓練により、災害時に必要な知識と対応力を深めました。災害発生時に求められる迅速な対応力や、正確な情報伝達の重要性を改めて認識しました。特に印象的だったのは、避難所における役割分担の明確化や、地域の住民の方々との連携の必要性です。BCP研修で得た知識とともに、今後の取り組みにどう生かしていくかを報告します。

## BCPとは

BCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画)とは、災害などの緊急事態発生時に、損害を最小限に抑え、事業の継続や早期復旧を図るための計画のことです。2024年4月からは、厚生労働省よりBCPの策定が義務化され、当法人も策定しています。BCPは一度作って終わりではなく、日々の業務や訓練、地域との関わりを通して、現実に応じた計画へと育てていくものです。

### 危険な場所を知る

国土交通省の「重ねるハザードマップ」を使って自宅や勤務先の周辺にどんな災害の危険があるかを調べ防災への意識を高めました。



## 正常化の偏見

自然災害などで被害の可能性がある状況でも「自分は大丈夫!」と自分にとって都合が悪い情報を無視したり、過小評価してしまったり心理傾向のことです。この心理が災害時にデメリットとなり「すぐに落ち着くだろう」「避難しなくても平気」と思い込むことで、命を落とす危険や被害の拡大につながるがあるといえます。

組織は「非日常」が苦手と言われ、私たちも考えさせられました。



## 災害発生時は、まずトイレ対策から!

災害時には断水や排水管の破損によって、トイレが使えなくなることがあります。湯井先生からの、「まずトイレ!」は全員が印象に残りました。

※災害直後には、まずトイレに、ポリ袋をかけて簡易トイレとして使えるようにしておくことが重要であることを学びました。



## 福祉避難所開設に向けて

必要な物資は何か、どこに避難してもらうか、福祉避難所の開設はいつ? 閉じるのはいつにする? など、実際にきららの木の平面図を見ながら、一つ一つ具体的に考えていきます。

避難者の受入れ(滞在)には、使わない場所に「×」(バツ印)や、受付の場所を決めて「施設図面」に書き込みます。健康チェックリストで配慮が必要な避難者の状態を把握し、付箋を使って各ゾーンへ振り分け、避難者をどこに配置するかは「施設図面」上に表します。※付箋とシールのルールも学びました。

シミュレーションをしながら意見を出し合いました。

## 職員の研修レポートより

研修に参加した職員の学びを紹介します。

✎ クロスロードをした時に、凄く迷い答えを出したが、いざ災害がおこった時に、冷静な判断ができるか不安を感じた。ルール決め的重要性を感じた。

「華で厳る」は福祉避難所の開設ではなく、開設された場所への移動となるが、皆が安全に避難ができるよう考えて避難訓練をしたいと思う。

また、避難場所開設に携わることがあった場合は、研修で学んだことを活かしていきたいと思う。シミュレーションとして今回大変な方の避難を想定してグループで話し合いをしたが、皆が本当にこれだけの人が来たら対応できるのかと話した。自己判断ではなく、計画書や指示書に基づき行動できるよう何度も訓練が必要だと思う。

一人でも多くの方を安全に、安心して避難ができるよう動きたいと思っている。

✎ 「自分は何をすべきか」

地域の避難拠点として普段から出来る準備は何なのか、常に確認しておかなければならないことは何なのかスタッフと話をしながら「特別なこと」ではなく「日常」であることを忘れずにいきたいと思ひます。

## ゲーム形式で 災害時の判断能力を試す

「クロスロード」とは、「重大な分かれ道」や「人生の岐路」を意味し、災害時に実際に直面した難しい判断をテーマにしたゲームです。

災害時に実際に直面するであろう場面を想定し、難しい判断をどのようにしていくか、ゲームを通じて考えていきました。



## 備蓄食料品・防災物品

湯井先生から、通所の利用者さんの食料品について、各自による準備のアドバイスがありました。特にこだわりのある人こそ、普段食べているものを持ち寄ってもらい事業所で預かるようにとのことでした。改めて、法人で方針を立てて整えていくこととします。

✎ 避難所を開設するには、破損場所の写真を撮ることや自分の身を守るヘルメットなどの装備を準備することも大事で、避難されてきた方の部屋や、過ごす場所や車中泊したい方はどうするかなど、決めていくことは沢山あります。また、私たち支援者も避難をしており支援者が休む場所も必要です。私たち支援者が健康でなければ、いい支援はできません。

普段から、備蓄物資を確保しておくことや、災害時の個人ファイルを作っておくことも大切です。

このような研修を行って頂き、他部門の職員の方と交流し、その方を知る機会になりました。そして少数派の意見を先に聞くという方法も参考になりました。

職員も利用者もともに成長し、地域の方たちと交流しながら、安心して過ごせる場所にしていきたいです。



研修を終え、法人内でBCPプロジェクトを立ちあげました。既存のBCPをきららの木に最適化し、より効率的で実効的なものにします。

プロジェクトのトップは理事長とし、各事業所から委員を1名ずつ選出して「きららの木」にふさわしいBCP計画の改定に取り組むこととなりました。令和8年1月から始動、3年計画で取り組むこととし、さまざまな角度から課題を抽出し、その課題に対して具体的な行動に移し、解決していくことを目指します。また、BCP会議は、各事業所の利用者のみなさんが到着する前の9時30分から実施することとし、効率的に進行できるようにスケジュールを組みました。



【全体方針】

- 1年目：基盤づくり（決める・整える・共有する）
- 2年目：実践・改善（試す・直す）
- 3年目：定着・発展（継続できる形にする）



1年目 目的「災害時に何を誰が行うのかを、職員全員がわかる状態を作る」

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ① 体制・役割を決める  | ② 重要業務を洗い出す |
| ・BCP責任者を決める  | ③ 連絡体制を整備する |
| ・緊急時の役割分担    | ④ 備蓄・環境確認   |
| ・不在時の代行者も決める | ⑤ 簡易訓練・振り返り |
| ※役割分担表       |             |

【1年目のゴール】

- ・職員が「自分は何をすれば良いか」を説明できる
- ・連絡が取れる
- ・最低限の事業継続が可能

2年目 目的「BCPを実際に使い、職員が行動できる状態をつくる」

- 災害・感染症を想定した訓練の実施
- 利用者の安全確保・支援継続の流れを確認
- 職員の役割分担の有効性を検証
- 訓練後の振り返りと課題の整理
- マニュアル内容の見直し・改善
- 家族・関係機関との連携方法の再確認



3年目 目的「BCPを日常業務に定着させ、継続的に活用できる状態をつくる」

- これまでの訓練結果を踏まえたBCPの見直し
- 新任職員にも分かりやすい内容へ整理
- 定期訓練・点検の仕組みづくり
- 備蓄品・連絡体制の継続的な更新
- 非常時でも安心して支援を継続できる体制の確立



研修を受けて

毎日の忙しさの中で、どうしても後回しにされがちですが、計画的に少しずつ進めることで、確実に形にしていきたいと思っています。進捗状況を職員で共有しながら必ずやり遂げるんだ！という意志の持続が大切だと痛感しました。

## 各事業所責任者が考える 「顔の見える関係」と「地域連携の意義」

近年、災害時における地域連携の重要性が改めて注目されています。今回は、「顔の見える関係」をテーマに、各事業所の責任者が、地域とのつながりについて改めて考えました。

きららの木では日頃の業務や活動のなかで、地域住民の皆さんや近隣施設との交流を積み重ねています。

生活介護では、地区社協さんからの依頼で地域のイベントチラシのポスティングをしています。利用者の皆さんは役割を担い頑張っており取り組んでいます。最近では慣れてきて、配り終えるスピードが上がってきました。ポスティング中の姿を見た住民の皆さんが「きららの木の人だね」「いつもあいさつが気持ちいいよ」などと声をかけてくださいます。地域に根ざした活動の成果の一つと思い、嬉しです。

また、地域のスーパーでは利用者の皆さんや職員の顔を覚えてくださり、レジでの配慮を自然にスムーズにしてもらっています。地域のお弁当屋さんを利用して交流を深めるなど、日常の中に“つながり”が生まれています。



児童発達支援や放課後等デイサービスでは、プログラムの散歩や戸外活動などで地域住民の皆さんと子どもたちが交わることで、地域とのつながりをつくる機会になっています。

法人全体の活動としては、地域住民の方対象に「お菓子教室」「陶芸教室」などのリレー講座を年間通して行っています。自治連合会主催の夏祭りなどの地域の行事にも積極的に参加しています。地域の福祉関係機関とも協同し、門松づくりを利用者さんが地域の人生の先輩に教えてもらいながら竹の伐採から行っています。今では年末の恒例行事となっています。

また、奈良市社会福祉協議会鳥見ふらっと様と共催で「夏/秋のつどい」を行ったり、小学校での福祉体験授業に職員も参加したり「地域に開かれた福祉事業所」を目指しています。地域の福祉関係機関の担当者間でも「顔の見える関係」から「話しやすい関係」に発展し、何か相談ごとや支援が必要なときには、ためらわずSOSを出すことができます。これらのつながりは非常に大きな強みであり、災害時には迅速かつ柔軟な連携につながると考えます。

移動図書館の場所提供も、重要なつながりの場となっています。移動図書館には地域の幼児から高齢の方まで毎月多くの人々が訪れ、利用者さんも職員も一緒に本を眺めたり借りたりして、さまざまな年代が、障害のあるなしにかかわらず、自然に触れ合える場となっています。

こうした活動の中で、「きららの木が福祉避難所であることを、地域により認知されることが必要」という課題意識も共有しました。災害時に自分の命、誰かの命を守るためには、福祉避難所の存在と役割をより多くの地域住民の方に理解してもらうことが不可欠です。「顔の見える関係」とは、日頃から挨拶や交流を重ねることで、お互いの人柄や活動を知り、信頼し合える関係のことです。いざという時に「誰に声をかければ良いか」がわかる地域の安心を支えるつながりです。これからもさまざまな活動を通して、地域住民の方や自治会・福祉関係機関の方と「顔の見える関係」をさらに広げていきたいと思っています。

今回、各事業所の責任者が、改めて防災という視点から地域の住民の方々とつながりを再確認する機会となりました。地域の中で「顔の見える関係」を広げていくことこそ、「持ちつ持たれつ」災害に強い「共助のまち」を築く基盤であり、きららの木が担うべき社会的使命であると考えます。



次のページでは、きららの木が「顔の見える関係」が築けるようどんな取り組みをしているか、詳しく紹介しているよ。



地域とのつながりを大切に、  
地域の一員として季節ごとの地域の催しに参加しています。

当法人の理事長、副理事長が講師



まほろばあいサポーター研修  
(通年)



令和6年10月17日  
奈良育英中学校実践交流会



令和6年11月16日  
鳥見クリーン大作戦



令和6年11月24日  
鳥見放課後子ども教室  
「ポッチャ大会」

狙うぞ～!



令和7年2月15日  
第1回西部南ブロック杯  
「ポッチャ大会」



令和7年3月20日  
いこまスポーツの日



令和7年3月26日  
奈良県共同募金会様より物品助成  
ダイヤ製菓(株)様より冷却シート寄贈



令和7年5月6日  
泉のたまご様 おはなし会



令和7年6月29日  
生駒市福祉びと交流会山登り大会



令和7年7月19日  
鳥見ふるさと夏まつり



令和7年8月2日  
三碓夏まつり



令和7年8月2日  
三碓夏まつり



令和7年10月7日  
富雄中学校ボランティア部交流会



令和7年11月1日  
いこままつり



令和7年11月5.6.7日  
富雄中学校職場体験



令和7年11月7日  
I-Netスポーツ大会  
(ポッチャ)



令和7年12月27日  
門松づくり (鳥見地区共同開催)



令和7年12月6日  
鳥見地区自治連合会  
餅つき体験会



奈良市移動図書館巡回  
(月1回場所提供)

鳥見地区自治連合会総会  
定例会オブザーバーとして  
出席 (通年)

鳥見まちづくり会議検討会  
(通年)

鳥見まちづくり会議検討会  
(通年)

令和7年1月28日富雄第三  
小中学校福祉体験会サポ  
ーターとして参加

令和7年11月28日鳥見小学校  
福祉体験会  
サポーターとして参加

市町村教育委員会等  
人権研修講師

リレー講座 地域のみなさんにお越しいただき、  
きららの木のことを 知っていただくことを大切にしています。

理事長  
清水順子さんのおはなし



令和7年2月15日  
特定非営利活動法人サークルおてんとさん様

温暖化防止を目的に、年に一度、勉強会を実施  
しています。  
マンモス君と地球君が出てくるペープサートを見たり、食品ロス、フードマイレージ、断熱について学んだり、食べ物の旬当てゲームをしたり、子どもたちと一緒に地球の未来を考えました。ソーラークッカーでポップコーンと目玉焼きを作り試食しました。

次回は  
令和8年2月7日  
10:00~11:30

参加ご希望の方は  
ご連絡ください



令和7年9月6日  
子どもお菓子教室



カラフル団子と  
アイスオレンジティー

メレンゲクッキーと  
チョコスコーン  
令和7年9月13日  
大人お菓子教室



令和7年9月27日  
子ども陶芸教室



参加者の作品  
令和7年10月11日  
大人陶芸教室

赤い羽根共同募金様よりご寄贈いただいた陶芸窯を今年度も活用し、陶芸教室を開催することができました。子どもたちはコップ作り。大人はコップに皿に箸置き。電動ろくろ体験もあり思い思いの作品が完成しました。

令和7年12月6日  
100万人のクラシックライブinきららの木  
主催：奈良市・一般財団法人  
奈良市総合財団



1歳から98歳まで年齢関係なく音楽がみんなの心をつなげてくれる瞬間に感動しました。

令和8年度は  
お菓子教室  
手作りプリン  
陶芸  
メイクやネイルの基礎  
ハンドメイドなど  
楽しい内容を企画中！  
お気軽にご参加ください



# 生活介護

華で敵る(はなでかざる)



生活介護統括責任者  
華で敵る責任者：東本

きららの木 いろ葉



責任者：矢野

瑞い実



責任者：倉本

生駒市「花と緑のわがまちづくり助成事業」でのフラワーロードや法面や畑には季節の花や野菜、果物がいっぱいできました。生駒山麓公園の「花の彩り事業」の業務委託を受け、花壇整備にも楽しく取り組んでいます。

地域活動を積極的に担い、楽しく取り組んでいます。法人主催の行事では、中心的な役割を担って会場設営や準備などにも取り組んでいます。中学生の職場体験やボランティア部との交流も行っていきます。

9名のアットホームな事業所です。入浴やPTなど個別での配慮を必要とする支援が多く、活動ホールには床暖房が入り暖かい環境を提供しています。畑では葉物野菜を中心に育て、ランチに提供しています。

10月 2.3日  
16.17日

## 生活介護一泊二日旅行

生活介護、2班に分かれて総勢76名が旅行に行きました。  
行先は「姫路セントラルパーク」と「ロイヤルプリンセス号ステキな船の旅」でした。



「独立行政法人国立病院機構 兵庫あおの病院」看護師さんにご協力をいただき、安全安心のもと最高に楽しい旅行が実現できました。ありがとうございます。

ホテルでの夜は、まず温泉にゆっくりと浸かりました。そしておいしい食事を味わった後、歌や踊りを楽しみながら宴会は大いに盛り上がりました。宴会後は、各部屋を訪ね合い、笑い声が絶えないにぎやかな時間が続きました。

ドライブサファリやウォーキングサファリを楽しんだり遊園地を楽しんだりサイコーでした！



バンパーボートを楽しむ二人！



# 児童発達支援・放課後等デイサービス

たのしい  
リーフ  
1単位



責任者：美馬

特別支援学校の小1から高3までの子どもたちが利用しています。年齢で分けて活動しているので、年下の子のお世話をしたり、憧れの気持ちが生まれたり、自然な交流が見られます。曜日固定のない多彩なプログラムです。夏休みは、恒例のお泊まり会でバーベキューや花火を楽しみました。

たのしい  
リーフ  
2単位



責任者：大辻

多機能型の児童発達支援、放課後等デイサービスです。児童発達支援では小集団療育で、一人ひとりの発達に応じた関わりを大切にしています。放デイは地域の学校に通う子どもたちが利用しています。宿題支援などニーズに合わせて取り組んでいます。個別のPTSTにも対応しています。

日向ここ



看護師常駐による医療的ケアが必要な児童への支援を提供  
責任者：畑谷

医療的ケアが必要な子どもたちが、季節を感じるプログラムを楽しんでいます。機械浴による入浴支援も行っています。遠足やプール、初詣、友だちと楽しい気持ちを共有し、自宅では味わえない体験も大切にしています。おやつは体に良いものにこだわって提供しています。

8月 8-9日  
23-24日

## 放課後等デイサービス 夏休みお泊まり会

笑顔あふれる楽しいお泊まり会となりました。初めて保護者の方と離れて宿泊する子どもや、年下の子を気づかう年上の子の姿がみられ、体験を通して一人ひとりの成長が見られました。



指定計画相談支援  
指定障害児相談支援  
相談支援センター  
きららの木 きらきら



当事業所は、行動障害のある知的障害者(児)や精神障害者の方々に対して、適切な計画相談支援等を実施するために、令和3年度に実施された強度行動障害支援者養成研修(実践研修)を修了した相談支援専門員を令和4年2月から配置しております。

乳幼児から成人まで、ライフステージに応じたさまざまな相談に対応しています。日常生活や、福祉サービスの利用に関する不安や困りごとについて丁寧にお話を伺い、一人ひとりの思いや状況に寄り添った支援を大切にしています。また、必要な福祉サービスを適切に利用できるよう、サービス等利用計画の作成や見直しを行い、関係機関と連携しながら継続的な支援につなげます。6名の職員体制で、安心して相談していただける環境を整え、地域の暮らしを支える役割を担っています。

## 居宅介護・行動援護・移動支援

スマイルライフ きららの木



責任者：大谷

日常生活の支援に加え、外出や旅行など社会参加の機会をを広げ、買い物や入浴、さまざまな体験活動を通して、楽しく充実した時間を過ごせるよう支援しています。万博への外出など、特別な体験にも積極的に取り組んでいます。さらに通院等介助を利用した病院受診まで、生活に必要な様々な場面を支えています。

## 短期入所

きららの木 ショートステイ月華  
きららの木 ショートステイ月夢



責任者：矢野

安心して過ごしていただけるよう、同性介助を基本とした支援を行っています。ご家族の休息や支援が必要なおとき、また将来の自立した生活を見据えた経験の場として、ご利用いただいています。

食事は事業所で調理し、出来立ての温かい手作りごはんが好評です。朝食はパンまたはご飯を選ぶことができ、食後にはコーヒーや紅茶を楽しめる方も多くいらっしゃいます。

2025  
大阪万博





# 全事業所 合同イベント

## 第1回ボッチャ大会 6/28



今年度、初開催のボッチャ大会は、児童も大人も一緒に参加し、事業所同士で交流しながら楽しむ企画として行われました。この日のために、各事業所でチームを作り練習に励んできました。当日は9チームが集まり、会場は応援の声や笑顔でいっぱいになりました。

優勝は児童部門  
「カツカレー」チーム

応援グッズも大活躍し、児童も大人も年齢を超えて大盛り上がり。終わった後には「次もすぐやりたい！」という声！熱気あふれる一日となりました。



## ハロウィンパーティー

10/31

変身!!

みんなで仮装を楽しみ  
笑顔いっぱいの日でした。

「Trick or treat！」



## 合同大運動会

9/23



選手宣誓



リレー



玉入れ



つなひき

きららの木を利用する就学児童から成人の運動会を開催しました。生活介護の先輩の選手宣誓で始まりました。つなひき、玉入れ、リレーとみんな全力で挑みました。生活介護の先輩手作りの紅白ポンポンを手に、応援する姿も元気いっぱい！保護者のみなさんからの声援も大きな力となり、参加者全員が笑顔で楽しめる運動会となりました。



## 12月25日 もちつき大会とクリスマス会

### 午前/もちつき大会



鳥見地区自治連合会  
止田会長(左)おみやう

小雨の降る中ではありましたが、みんなでもちつき大会を楽しみました。杵で餅をつくたびに、「よいしょ！よいしょ！」の掛け声で大盛り上がり！会場は笑顔と応援の声に包まれました。なかまともにもちつきを楽しみ、日本の伝統行事に自然と触れることは、とても豊かで大切な経験だと感じました。こうした時間をこれからも大切にしていきたいと思います。



鳥見地区自治連合会さんより  
臼と杵をお借りしました



その人に合わせたもちつき！



お昼は、かまどで豚汁

### 午後/クリスマス会



#### メリークリスマス！

歌や踊り、合奏など、各事業所の出し物で盛り上がったクリスマス会！サンタさんの登場とお菓子のプレゼントに笑顔いっぱいの日となりました♪



保護者ボランティアさん



十四年間連続！  
奈良町資料館 南館長サンタさん  
今年の頑張ったことを褒めてくれました



奥田副理事長サンタ  
からプレゼント♪



職員  
「サザエさん」ダンス

Topics 01

生活介護

新しいなかまが加わりました



「嬉しい実」に医療的ケアを必要とする方を含む3名の方が新たに入所されました。きららの木の生活介護では奈良市の事業所、生駒市の事業所合わせ、現在利用者は総勢42名となりました。3事業所が一つのチームとして連携し、それぞれの専門性を生かしながら、より質の高い支援を目指して取り組んでまいります。

「農福連携プラス推進事業」

NPO法人くれよんの里さんの事業にきららの木も大柳生の畑で野菜作り！

大柳生の畑に種をまきました。寒さの厳しい地域のため、栽培できる野菜は限られますが、その土地に合った小松菜などを選び種を蒔きました。芽吹きの時を楽しみにしながら、自然と向き合う時間を大切にしています。



Topics 02

理学療法士によるPT開始

昨年3月まで東大寺福祉療育病院で理学療法士として勤務していたスペシャリストを、令和7年4月より当法人に迎えました。35年の実績があり、豊富な経験を持つ理学療法士を採用できたことは、当法人にとって非常に心強いことです。現在は、全ての事業所において利用者の皆さんへのリハビリはもちろん、職員の健康管理にも幅広く関わっています。

理学療法士  
西村



～西村より一言～

動きにくくなってきた身体が漠然と不安。病院に行くほどでもない、そんなニーズに向き合い、治療して身体もこころも軽くしたいです。相談にいらっしゃいませんか？

Topics 03

言語聴覚士によるST開始

39年の経験を持つ言語聴覚士が新たに加わり、0歳の赤ちゃんから大人の方まで、ことばやコミュニケーションに関する相談やリハビリを行っています。法人の新たな戦力として、これからの支援がもっと充実していくことを期待しています。

言語聴覚士  
なかやち  
中谷内



～中谷内より一言～

初めまして。富雄在住25年目にして地元で仕事がしたいという思いがやっと叶いました。もしかすると、もうどこかで繋がっている方もいるかも？私のこれまでの経験がみなさまのお力になったら嬉しいです。新しい出会いにワクワクしています。

きららの木のかわいいなかま



「白井弁護士研修(親亡き後のサポート制度)」

令和7年10月25日  
法律事務所 あさひパートナーズ  
法人顧問弁護士  
白井 啓太郎先生による研修会

生活介護を利用されている方のご家族を対象に、事前にアンケートを実施したところ「相続」に関する関心が特に高いことがわかりました。きららの木の顧問弁護士を講師にお迎えし、勉強会を開催しました。

当日は、相続に関する基本的な考え方などを、わかりやすくお話しいただき、ご家族の皆さんにとって大変有意義な時間となりました。



また、職員も参加し、あわせて成年後見制度について学ぶ機会となり、今後の支援に生かせる知識を深めることができました。今後も、ご家族のみなさんの不安や関心に寄り添った取り組みを継続していきたいと考えております。

正田先生による「歯科検診」

令和7年12月18日  
令和8年 1月22日

きららの木にて歯科検診が行われました。3名の歯科医師がボランティアで、一人ひとりに対して丁寧な検診を実施してくださいました。



検診では、歯の健康状態をチェックするだけでなく、日常の口腔ケアについてもアドバイスがありました。先生方は、参加した保護者にも口腔ケアの方法を説明し、家庭でのケアに役立つ指導を行ってくださいました。参加者からは、子どもを歯医者さんにつれていくのが大変で困っていて今回とても助かりました。など歯科医師に感謝の声が寄せられました。正田先生、寶達先生、田中先生とご縁をいただき、今回の検診は6回目となります。毎年ボランティアで検診していただき感謝申し上げます。



右から  
正田 農夫 先生  
田中 和宏 先生  
寶達 照樹 先生

「一度は行ってみたい京都・高台寺の夜間特別拝観」

奈良セントラルライオンズクラブ様より、京都・高台寺の夜間特別拝観にご招待いただきました

境内では、色彩豊かなプロジェクションマッピングが広がり、幻想的で非日常的な空間が演出されていました。国の文化財に指定されている庭園も、光に照らされ、水面に映り込む景色はまるで鏡のように美しく、深く心に残る光景でした。拝観後には、冷え込んだ体を心から温めてくれるおいしい「うずみ豆腐粥」をいただき、心身ともに満たされるひとときとなりました。

このような素晴らしい機会をご提供くださいました奈良セントラルライオンズクラブ様に感謝申し上げます。



食育活動

きららの木では、「食育基本法」の理念に基づき、野菜や果物の栽培、収穫、調理、そして実際に食べるという一連の体験を通じて、食べることの喜びや感謝の気持ちを育んでいます。これらの活動は、生活訓練や社会参加の機会となるだけでなく、経済的自立を支援する重要な取り組みでもあります。

認定NPO法人 フードバンク奈良様より政府備蓄米を提供いただいています。食を通じた学びやふれあいが、新たな支援の形へと広がっています。

みかん狩りや季節のイベント、食事など日々の活動の中で、ご支援をありがたく活用させていただいております。フードバンク奈良様からのご提供を心より感謝申し上げます。



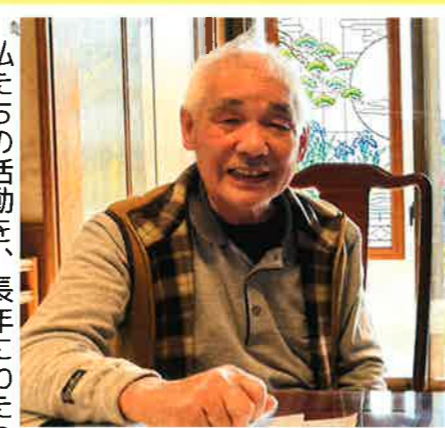
当法人の管理栄養士が監修した食育チラシ配布、食に対する意識の向上を図っています。

# スタンドグラスからのメッセージ



# 心を照らすご寄贈に感謝して

私たちの活動を、長年にわたり支えてくださっている方がいます。お隣に暮らすスタンドグラス作家の、河原清さんです。私たちは、私たちみんなの「お父さん」と日頃から呼ばせていただいています。息子さんがダウン症であることをきっかけに、河原さんはスタンドグラスの制作を始められました。元々は「割烹川清」さんで、広く知られる割烹料理人さんです。奈良県食品功労者賞を受賞され、また、食品衛生指導員も務められていました。かつて、お店は連日多くの方で賑わっておられました。そんな中、息子の大輔さんの誕生を機にいつか父である自分自身が亡くなっても大輔さんに形あるものを残したいと、縁あってスタンドグラスの世界にも進まれました。作品の、その一つひとつには、家族への想いと祈り、眺めてくださる方へのメッセージが込められています。



河原 清氏 奈良県食品功労者賞受賞  
携わった作品  
国会議事堂 ジャパン万博(パリ)  
横浜国際会議所(平山郁夫デザイン)  
青砂ヶ裏協会(五島列島)  
平城遷都1300年 他多数

言葉では伝えきれない思いを、光と色に託す手仕事は、やがて長年続く創作へと育っていききました。その手仕事は、職人としての確かな技へと昇華し、今ではさまざまな光を届ける作品として、多くの人の目に触れていいます。なかでも河原さんが当法人に寄贈してくださったスタンドグラスは、今も私たちの事業所にやさしい光を届けてくれます。ガラス越しに差し込む光は時間帯や季節によって表情を変え、利用者のみなさんと職員、そして訪れる人の心をそっと和ませてくれます。



## 成長の樹(じゅ)

一階の「瑞い美」から二階の「日向」へと続く。下に花が咲き、木の枝が上に上へと伸びていつに。子どもたちが健やかに育つようにとの想い。



永遠の華(とわのはな) 「玄関本部」

この作品は展示品のなかで一目惚れし、ぜひにいただいた。後に由来を聞くと、JR福知山線脱線事故テレビ報道で白百合の花の献花が映り枯れていたこと。百合が枯れることなく、いつもきれいに咲いているようにと想いを込めて。



ドアにデザイン変えて「きららの木」

また、河原さんからいただいた手づくりのお料理は季節の移ろいを感じさせる滋味深いもので、私たちの心と体を温めてくれました。ご自身の手で育てた野菜も分けてくださり、その一つひとつに、暮らしを大切にする姿勢が表れていました。どの野菜も愛情たっぷり、こだわりの育て方の野菜は瑞々しく新鮮でおいしさは抜群です。そこには、言葉では語られない思いや、人生の積み重ねが映し出されているようです。

その生き方は、特別な言葉が必要としません。作品として残されたスタンドグラス、丹精込めて育てた野菜など、それらすべてが、河原さんから私たちへの確かなメッセージです。ここに、その功績と歩みに深い感謝と敬意を込めて、記録として残します。河原さんが灯してくださった光は、これから私たちの場を、そして心を照らし続けてくれることでしょう。

「子どもたちに作品を通じて、メッセージが伝わったら何よりうれしいよ」  
河原さんより



「華で蔽る」事業所を照らす生駒山利用者のみなさんがいつも生駒山が見られて健やかに育つように。平群から高山へ太陽が昇り、沈む流れを表現している。  
生駒山の麓、中央に「きららの木」があり光に照らされ希望に満ちて成長していく。トンボは前にしか進まない縁起のよいこと知られている。

## 生駒山



Japan Stained Glass Museum  
日本ステンドグラス美術館  
Studio KA/ASB  
特別指導員 河原清氏

## いにしえの都

「瑞い美」の事業所の窓から正面に見える、あおによし奈良の都。朝日が昇り、年中桜が咲く若草山。東大寺大仏殿や興福寺五重の塔、奈良公園には親子の鹿、猿沢池には亀や蛙。どんなことがあっても朽ち果てることがない「再生の木」。



## ノウゼンカズラ 「児童棟」

凌霄花(ノウゼンカズラ)の花に小鳥が近づき、さらに花を咲かせていく様子を表している。同時にこの作品を創った年に阪神タイガースが優勝し、虎のように強く育ってほしいとの想いから、デザイン全体で虎の顔を表現している。みなさんにも見えますか。



## いにしえの雅

奈良県庁のホールには、平城遷都一三〇〇年を記念して制作された作品が訪れる人の目を楽しませています。





# みんなの笑顔が集まるページ

令和6年9月8日  
NHKのど自慢本選出場

令和7年12月6日「一つの挑戦が、暮らしの楽しみを広げました」



一昨年、職員が大阪で開催されたNHKのど自慢に出場しました。利用者さんと職員が応援に駆けつけ、法人の中で新しい変化が生まれました。

「知っている職員が出た番組」「自分たちが応援に行った舞台」となり、利用者の皆さんにとって、より身近な存在になったのです。そんなことから、このたび、大淀を会場とする予選会に法人から2名出場しました。総勢

17名が早朝から応援に駆けつけてくれました。本選への道は叶いませんでしたが、一つの挑戦が、利用者さんの興味を広げ、生活の中に楽しみや張り合いを生み出す、それは、私たちが大切にしている「豊かな暮らし」につながると感じます。日曜日の過ごし方に新しい楽しみが加わりました。これからも、日常に笑顔と楽しみが増える時間を共に育んでいきたいと思ひます。

# 人の喜びを喜べる法人でありたい

「それぞれの願いを胸に 事業所ごとに初詣」

1月は毎年、それぞれの事業所で初詣に出かけ、一年の願いを胸に手を合わせています。今年はお天気に恵まれ、清々しい気持ちで新しい一年のスタートを切ることができました。それぞれの願いを胸に、今年も笑顔あふれる一年になりますように。



霊山寺



添御縣坐神社



令和7年2月24日  
大阪マラソン

「大阪・奈良マラソンで見た、私たちのチーム力」

令和7年12月14日奈良マラソン



職員2名が大阪フルマラソンに出場しました。当日は利用者さんもスクリーンを通して声援を送りました。「がんばれー！」一人完走できました。もう一人は25kmでリタイア。



ベストタイム(30代前半)2時間58分54歳、まだまだ走り続けます。初回から走っています！

奈良マラソンに職員が出場しました。普段は総務部で裏方として法人全体を支える立場ですが、この日は一人の挑戦者としてスタートラインに立ちました。当日、法人内では部署を越えて、職員それぞれが携帯を手にテレビ中継を見ながら応援しました。法人のグループLINEには応援メッセージが次々と届いていました。その一体感は私たちの大きな力であり、日々の仕事にもつながっていると感じます。一人で走るフルマラソン。しかし、その背中には、確かに“みんなの応援”がありました。

完走した人だけがもらえるメダルとタオル！途中リタイアは、月化粧(お菓子)などなどをいただき…。「がんばったで賞」では「利用者さんの応援の笑顔」いただきました。



事業所から応援!!  
がんばって!!



「ご結婚おめでとう」

職員の結婚♥当日、式場から動画で生中継が行われ、事業所では多くの笑顔と感動があふれました。職員の幸せを共に喜び、利用者さんの幸せも共に喜ぶ。この思いをこれからもずっと大切にしていきたいと思ひます。



「ご出産 おめでとう」

職員に新しい家族が増えました。3人のパパになりました。その嬉しい知らせに、利用者さんから拍手と「おめでとう」「かわいい」の声が届きました。子育てしやすい法人であり続けます。



「今年の一文字」当て

年末年始の番外企画！清水寺の「今年の一文字」にならって、法人でも「今年の一文字」当てを行いました。清水寺「今年の一文字」と理事長「今年の一文字」

令和7年 清水寺編

「熊」



令和8年 理事長編

「元」

自分に負けないよう「元」気ががんばります！



一年を振り返りながら、それぞれが思う一文字を予想し、正解者には景品もそれぞれに用意しました。思い通りの漢字で大盛り上がりでした。当日は、各々の事業所で発表を聞き、歓声や笑い声が上がりました。正解者は5名、景品を手に満面の笑みでした。ちなみに理事長の一文字は正解者なしでした。法人の職員みんなで楽しみ、一年の締めくくりにふさわしい一年の疲れも吹き飛ばすほど楽しい時間となりました。解答者なしの理事長「漢字一文字」は、新年企画に持ち越し、令和8年「今年の一文字」予想となりました。今年も、楽しい企画や元気になる企画で、明るく笑い、風通しの良い法人にしていきたいと思ひます。



# 令和6・7年度賛助会員様

522人個人会員様、42企業団体様ご協力ありがとうございます。

こころより感謝申し上げます。



企業団体様一覧（敬称略・50音順） ※匿名希望の方は掲載しておりません。

- |                  |                     |                   |
|------------------|---------------------|-------------------|
| APEX             | 株式会社 米杉建設           | ナガタ工業株式会社         |
| M's planning     | KitakoWorks         | 奈良日産自動車株式会社 登美ヶ丘店 |
| 欧州 最強自動車         | 喫茶 ちゃーむ             | 奈良町資料館株式会社        |
| 大神モータープール        | チームきららの木 (生活介護保護者会) | 鳴門産業株式会社          |
| 折橋診療所            | 極東鋼材株式会社            | 南都銀行 西大寺支店        |
| 香り玉編み物メンバー       | 公益財団法人 社会貢献支援財団     | HASAMI            |
| 割烹 川清            | 社会福祉法人 信愛会          | ふらわー城之内           |
| 株式会社飛鳥ビジネス       | Studio KAWASEI      | 焼鳥酒家 鳥弘           |
| 株式会社 ウィンドーセンター奈良 | スナダ建設株式会社           | 安田医院              |
| 株式会社M.I.E        | ダイヤコスモ株式会社          | 龍馬富雄店             |
| 株式会社春川           | 大和ハウス工業株式会社 奈良支店    | 有限会社保険セントラル       |
| 株式会社 マイ工務店       | 特定非営利活動法人 ピースホープ    | 吉岡商事株式会社          |

# 役員及び各事業所連絡先

## 役員

- 理事長 江川 美奈子
- 副理事長 奥田 芳久
- 理事 上司 永照
- 理事 中村 大蔵
- 理事 竹島 良子
- 理事 江川 日菜
- 理事 田和 成司
- 監事 中川 正成

## 社員

54名

※社員は一般的な会社員や職員とは異なり、認定NPO法人においては、法人の意思決定を行うために法律で定められた不可欠な構成員です。  
給与は発生しませんが、法人運営の根幹を支える重要な役割を担っています。

## その他

- 賛助会員
- ボランティア
- 後援団体等

- |                       |  |   |
|-----------------------|--|---|
| 指定計画相談支援<br>指定障害児相談支援 | 相談支援センター<br>きららの木 きらきら                                 | 奈良市三碓町2250番11<br>TEL:0742-41-2801   |
| 児童発達支援                | たのしい りーふ   | 奈良市三碓町2250番10<br>TEL:0742-44-2125   |
| 放課後等デイサービス            | たのしい りーふ (1単位)<br>たのしい りーふ (2単位)<br>日向ここ (主として重症心身障害児) | 奈良市三碓町2250番10<br>TEL:0742-44-2122<br>TEL:0742-44-2125<br>奈良市三碓町2250番9<br>TEL:0742-47-6770               |
| 生活介護                  | きららの木 いろ葉<br>華で蔽る<br>瑞い実                               | 奈良市三碓町2250番11<br>TEL:0742-41-2801<br>生駒市吉分町77番9<br>TEL:0743-21-1107<br>奈良市三碓町2250番9<br>TEL:0742-81-7763 |
| 居宅介護・行動援護・移動支援        | スマイルライフ きららの木  | 奈良市三碓町2250番11<br>TEL:0742-41-2801   |
| 短期入所                  | きららの木 ショートステイ月華<br>きららの木 ショートステイ月夢                     | 奈良市三碓町2250番11<br>TEL:0742-41-2801<br>奈良市三碓町2250番9<br>TEL:0742-81-7763                                   |



## 編集後記

前回の会報誌の発行から、気がつけば一年が過ぎてしまいました。長らくお待ちをせしてしまい、申し訳ありません。

きららの木は、設立した当初から、地域の先輩の皆さまに温かく支えていただいていた。日頃からのご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

最近では、インターネットやSNSを通じて、活動の様子をお知らせすることも増えてきました。その一方で、紙の会報誌には、手に取って読める安心感や、あたたかさがあると感じています。

「一年の計は元旦にあり」と言われますが本号の編集に、元旦もこの作業に向き合いました。新しい年のはじまりに、こうして皆さまに近況をお伝えできることを、うれしく思っています。

そして今年も、読書の時間を大切にしていきたいと思えます。A1の普及や電子書籍が身近になる一方で、一冊一冊を手に取り、その重みや紙の匂い、紙のつやを感じながらページをめくる時間は、やはり特別なものです。静かな読書のひと時が、日々の暮らしに、うるおいと豊かさを与えてくれると感じています。法人でも書籍コーナーを設け、職員への本の貸し出しを行っています。

忙しい毎日の中でも、本を手取るひとときが、気持ちを切り替えたり、新しい視点に出会ったりするきっかけになればと願っています。本年もよろしく願っています。

江川

賛助会員として「きららの木」をご支援くださっている個人・団体・企業の皆様、ありがとうございます。皆様からいただきました賛助会費は、これまで以下のような事業の実施に活用してまいりました。

次は、皆様がつどい、つながることのできるコミュニティの場づくり事業の資金として活用させていただきたいと考えております。地域の皆様がおいしいものを味わいながらおしゃべりしたり、ホッとくつろげたり、そんな空間を目指しています。

- |                           |   |                         |
|---------------------------|---|-------------------------|
| 平成28年<br>華で蔽る「大規模リフォーム事業」 | 令和2年<br>「みんなのエレベーター設置事業」<br>「コンベクションオープン設置事業」 | 令和4年<br>華で蔽る「法面の階段改修工事」 |
|---------------------------|---|-------------------------|



# 賛助会員募集のご案内

私たちは、地域に根ざした活動を通して、  
誰もが安心して暮らせる社会づくりを目指しています。  
これらの活動は、賛助会員の皆さまからの温かいご支援によって支えられています。  
一人ひとりの想いが集まることで、未来へつなげる大きな力になります。  
ぜひ、賛助会員として私たちの活動を応援してください。

認定の強み!

認定NPO法人は、  
行政が「公益性・透明性」を認めた団体です。  
認定NPO法人への賛助会費は、寄附金控除の対象になります。

賛助会員とは  
当法人の目的や活動  
にご賛同いただき、資  
金面からご支援くだ  
さる会員です。  
※活動への参加義務  
や総会での議決権は  
ありません。無理のな  
いかたちで、継続的に  
ご支援いただけます。

会費・寄附金  
使用目的

個人・法人とも、税額控除を受けられます。  
認定NPO法人への寄附は所得税・住民税の控除対象  
確定申告をすると税金が戻るまたは安くなることがあります。

賛助会費は、「ドリームもりもりプロジェクト」として、子どもから大人ま  
でだれもが気軽に集い、楽しい時間を過ごせるコミュニティづくりに活用し  
ます。具体的には、「おいしいものを囲みながらおしゃべりでき、ほっとひ  
と息つける場所があったらいいな。」ほっこりとした場となることを目指し  
ています。その建築・整備および維持運営に必要な費用に充てます。

ご賛同いただける方は、下記にお電話いただくか、  
右記QRコードにアクセスいただきお申込みくださ  
い。お振込み頂きましたら、寄附金受領証明書をお  
送りさせていただきます。



個人一口 3,000円

「あなたの寄附が、税金の控除になります。  
応援しながら、税金の負担も軽くなる」寄附です。

企業・団体一口 5,000円

企業の寄附も、損金算入の特例が受けられます。

- ・何口でもご加入して頂けます。
- ・会費は活動支援費として大切に  
活用させていただきます。
- ・広報誌等をお送りいたします。

南都銀行

西ノ京支店：普通2046124

ゆうちょ銀行：00920-5-288117

※税控除額は、所得や条件により異  
なります。  
※詳しくは税務署・国税庁HPをご確  
認ください。

オープニング  
スタッフ募集!  
新規事業(予定)

資格が無くても大丈夫!  
まずはお問い合わせください  
勤務日数・時間は相談可能です  
子育てと両立しやすい職場です

常勤スタッフ・パート

生活支援員・看護師・保育士  
ドライバー・調理師・菓子職人

〒631-0061  
奈良市三碓町2250番11  
TEL：0742-41-2801  
FAX：0742-41-2802

担当：小泉・奥田



ホームページ



Instagram



facebook

